

# アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対

## 署名(オンライン&署名用紙)

### 推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/8/3

No. 1

賛同署名は

\* オンライン8/2まで

**2,469**

\* 署名用紙8/2まで

**804**

人  
筆

みやぎ生協・コープふくしまは  
東京電力福島第一原発事故におけるアルプス処理水  
(冷却水などの汚染水)の海洋放出に反対です。  
反対署名運動へのご協力をお願いします

**この署名運動は、主にオンライン署名での参加を呼びかけています。**

以下アクセスで直接 署名サイトへアクセスできます。

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



スマホはこちらから

## みんなの思いが 海を守る

### 「アルプス処理水海洋放出に反対する署名」 に賛同をお願いします

**東京電力福島第一原子力発電所のアルプス処理水は、  
海洋放出を行わず、別の方法で処理することを求めます。**

2021年4月13日、政府は国民の理解を得ないまま、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴うアルプス処理水の海洋放出を決めました。海洋放出方針は、漁業者や福島県民はもとより広く国民の反対や懸念の意思表示があるなか、「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という東京電力と地元漁業者の約束を反故にして決定したのです。

「アルプス処理水」は原発事故を起こした原子炉から発生している放射性汚染水を処理したものであり、通常の原発から放出されているトリウム水とは違うものです。安全性について、安全性の担保、国民・国際社会への理解醸成、風評対策が十分ではなく、漁業への影響はもとより地産地消活動、地域経済への重大な影響が懸念されることからです。

こうしたことから、豊かな海を次世代に引き継ぐためにも、アルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者の理解が得られる処理方法で実施することを、広く国民、国民への理解を広げながら、経済産業大臣、東京電力ホールディングス株式会社代表者、関係自治体等に求めていく取り組みとしてすすめていくと考えております。

#### ■呼び掛け人 (2021年6月8日)

みやぎ生活協同組合・コープふくしま、宮城県漁業協同組合、宮城県生活協同組合連合会、福島県生活協同組合連合会

#### ■署名実施期間

第一次集約 2021年9月末 第二次集約 2021年11月末 以降も継続を予定しています。

#### 署名用紙は中面にあります。

署名の方法については中面をご覧ください。

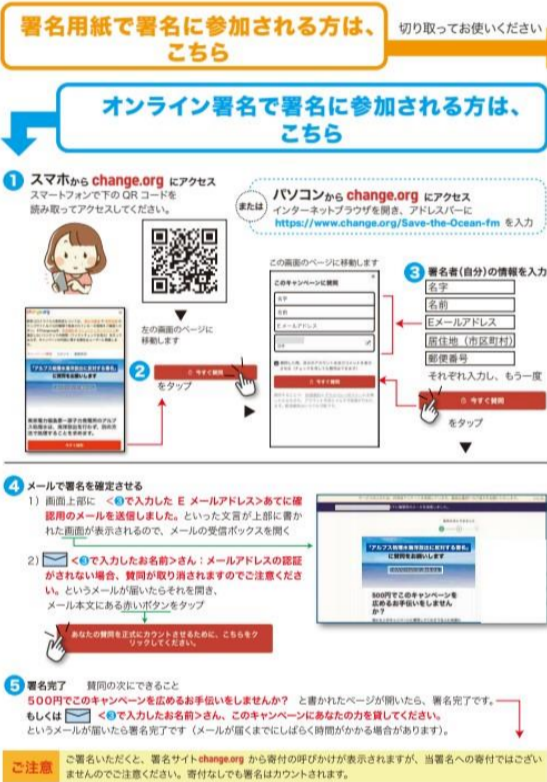
※オンライン署名での参加も呼びかけています。詳しくは中面をご覧ください。

#### みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内

#### 「アルプス処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局

〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F Tel.024-557-1181

**■案内チラシ付き署名用紙が完成！いつでもどこからでも気軽にできるのがオンライン署名(・▽・)とは見え、やっぱり私は「紙派です」という方も多いはず。/お待たせしました/案内チラシ付き署名用紙ができました！...ご利用の際は、事務局までご連絡願います。024-557-1125 根本**



内閣総理大臣 種  
経済産業大臣 種  
東京電力ホールディングス株式会社代表者 種

#### アルプス処理水海洋放出に反対する署名

2021年4月13日、政府は東京電力福島第一原発事故に伴うアルプス(多核種除去装置)処理水の海洋放出を決めました。海洋放出方針は、漁業者はもとより国民の反対や懸念があるなか「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」という東京電力と地元漁業者の約束を反故にして決定したのです。

「アルプス処理水」は、原発事故を起こした原子炉から発生している放射性汚染水を処理したものであり、通常の原発から放出されているトリウム水とは違うものです。アルプス処理すればトリウム以外の除去は可能とされていますが、実際には基準値を超えるトリウム以外の核種の存在も指摘され、海洋環境への影響が懸念されています。安全性の担保、国民的理解、国際社会の理解醸成、風評被害対策について、大きな課題として残ったままです。

このまま海洋放出が行われることになれば、地域経済に大きな影響を及ぼし震災復興のために払われてきた10年の努力が水泡に帰す大きな懸念があります。今後30年以上の長期間にわたる海洋放出は許されるものではありません。

廃炉の完了と東日本大震災、原発事故からの復興への道は、長く先が見えない状況にあります。原状の復元、復興にむけての取り組みは、関係者、国民との理解と信頼のもとすすめるべきです。こうしたことから、豊かな海を次世代に引き継ぐためにも、アルプス処理水の海洋放出は、海洋放出による、関係者、国民の理解が得られる別の方法で、実施することを要請します。

#### 要 請 事 項

一、東京電力福島第一原子力発電所のトリウム等を含むアルプス処理水は海洋放出を行わず、関係者、国民の理解が得られる別の方法で処理すること。

氏 名	住 所

#### ■呼びかけ団体

- みやぎ生活協同組合・コープふくしま
- 宮城県漁業協同組合
- 宮城県生活協同組合連合会
- 福島県生活協同組合連合会

#### ■取扱い団体

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内「アルプス処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局  
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F Tel.024-557-1181

### <広がってます、応援の輪>

全国の生協で「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」の取り組みを紹介していただき学習会の開催、署名活動にも参加協力いただいています。



#### ふくしまオンライン学習会 ～アルプス処理水の海洋放出～

東日本大震災から10年目を迎えた今日、福島第一原発事故より継続的に発生している汚染水を浄化処理したアルプス処理水の海洋放出が問題となっています。そこで、コープおおいでは、今後もふくしま復興に寄りそい続ける想いを継承させていくため、アルプス処理水の海洋放出問題への理解を深めるためのオンライン学習会を開催いたします。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



■ 7月21日(水)コープおおい主催による「ALPS処理水海洋放出問題学習会」が開催されました。コープおおい+全国から12の生協、連合会の役職員の皆様など総勢54人が参加されました。東日本大震災以降ずっと福島に寄り添い続けてくださっているコープおおいさん。多くの方にご参加いただけるよう7月～9月にかけて毎月学習会を実施していただきます。オンライン(ZOOM)での学習会のため、全国各地から参加可能です。

#### <参加者の声>

- ・福島の今を知ることができ大変学びの場となりました。地域に寄りそった行動を今後も行えるよう呼びかけに協力させていただきます。
- ・大変勉強になりました。報道されない知られざる真実を垣間見た感じでした。しかし、このあと数十年、子供や孫の代まで負担がかかるようなことがいとも簡単に、議論もされず実行されていることに驚きました。共感を得ながらどうやって伝え広げ理解者を増やすのか、告発的ではなく...それが課題だと思いました。

●オンライン署名のやり方についても丁寧に説明いただきました。



#### <オンライン署名 賛同者コメント紹介>

- ・約束を守ることが最低限の誠意だけだね。日本だけの海でないんだから
- ・全力で、本気で解決方法を探せ。あまりにも安易で無責任。被害の拡散はやめろ
- ・海は生きとし生けるみんなのもの。  
国や県や電力会社の都合で勝手に汚染が許される道理はない、絶対に!
- ・政府はちゃんと核種を測り発表しないとイケない
- ・海に捨てるってダメに決まってるでしょ。

#### <情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内  
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局  
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F  
Tel.024-557-1181 FAX557-5359 \* mail:sn.10243sn@todock.coop (根本)

#### <編集後記>erikoのつぶやき

物議を醸した東京オリンピックが始まりました。いろいろありましたが、始まってしまえばやっぱり楽しい♪ 選手の姿に魅せられテレビの前から動けない日々が続いています。コロナに翻弄され、大会が開催されるかどうかかわからないなかでモチベーションを保つのは本当に大変。トップアスリートの技術はもちろん、気持ちの強さに瞠目します。現状に向き合っていることを続けていくのみ。選手たちの精神力にあやかりALPS処理水海洋放出に反対する署名運動を続けていきます。

